

低下が続く死亡率

研究開発部
天笠 勇史

<右肩上がりの平均寿命>

何もかもが右肩下がりで、国際社会でも地盤沈下が続くわが国だが、いまだに右肩上がりで世界トップのものがある。男女それぞれの平均寿命である。『平成12年簡易生命表』によれば、2000年のわが国の平均寿命は、男性が77.64歳、女性が84.62歳である。国際比較では、男性はアイスランド（77.5歳）を僅差で抑えてトップ。女性はスイス（82.5歳）を大幅に離して断然のトップであった。

平均寿命は、戦後ほぼ一貫して右肩上がりに伸び続けてきた（図表1）。国立社会保障・人口問題研究所が行った将来推計では、今後も長寿化が続くと推計されており、2050年には、男性が80.95歳、女性は89.22歳まで到達する。女性にとっては、人生90年時代の到来である。

<年齢調整死亡率は一貫して低下>

平均寿命が伸び続ける中で、不思議なことに死亡率は1980年ごろを底に上昇している（図表2）。これは、この間人口の高齢化が進み死亡率の高い高齢者が増加したためであり、みかけ上の死亡率（粗死亡率）が上昇したのである。

本来の死亡率をみるために年齢構成の変化の影響を排除して算出した死亡率を、年齢調整死亡率という。厚生労働省が都道府県別に5年ごとに発表している。この3月末には平成12年版が発表された。年齢調整死亡率は一貫して低下しており、平均寿命の伸長と整合していることがわ

かる（同図表）。

年齢調整死亡率では、都道府県間の年齢構成の差も調整される。つまり、高齢県であること等の影響を除去した、正確な死亡率を比較することができる。

<全死因死亡率が最も低い県は、男性が長野、女性は島根>

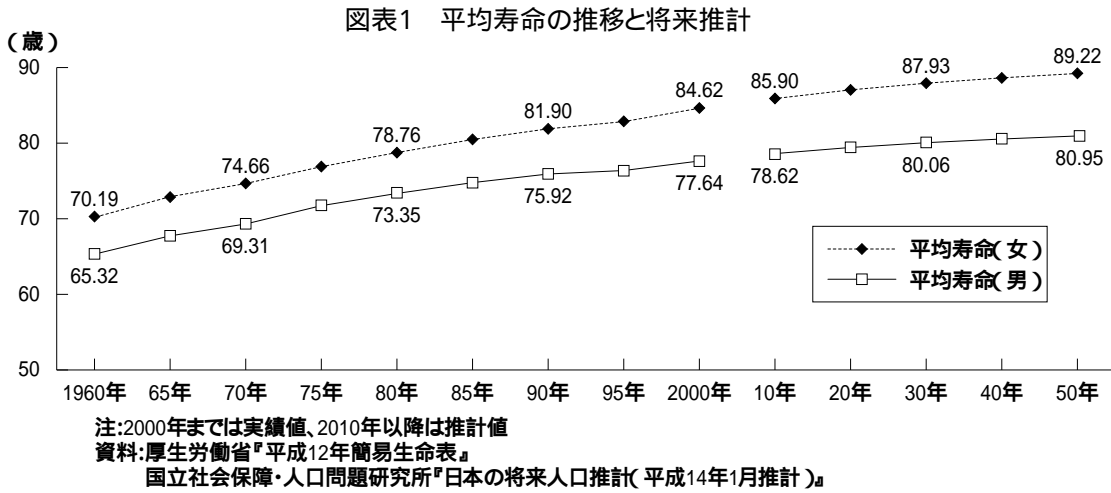
図表3には、三大死因別に上位（1位～5位）・下位（43位～47位）各5都道府県の年齢調整死亡率を示した。上位ほど死亡率が低い。

男性で死因別の死亡率が最も低い県は、悪性新生物が長野、心疾患は福岡、脳血管疾患は福井である。長野は全死因での死亡率も最も低かった。一方、男性で死亡率がもっとも高い県は、悪性新生物が大阪、心疾患と脳血管疾患はともに青森である。青森は悪性新生物も45位で、全死因の死亡率も最も高い。

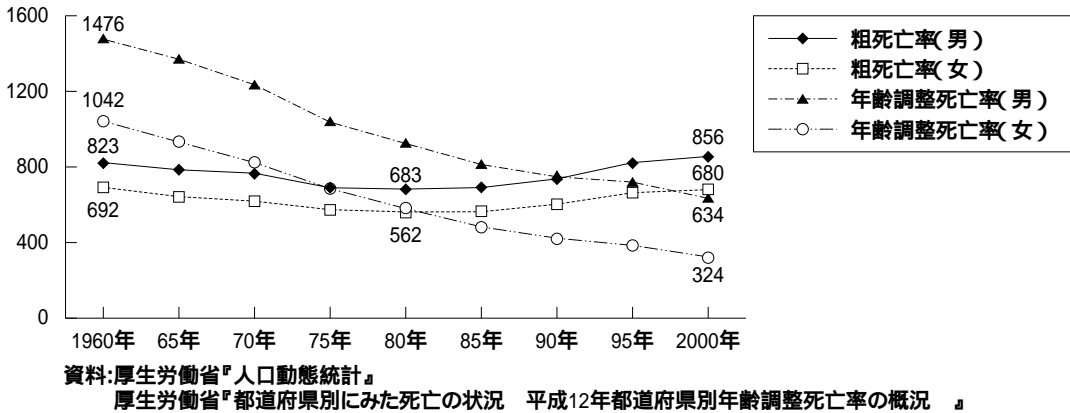
女性で死亡率が最も低い県は、悪性新生物が島根、心疾患と脳血管疾患はともに沖縄である。全死因では島根が最も死亡率が低い。同県は心疾患・脳血管疾患も3位に入っている。逆に死亡率がもっとも高い県は、悪性新生物が男性と同じ大阪、心疾患は愛知、脳血管疾患は秋田である。全死因での最下位は大阪であった。

以上のように死因別の上位・下位はさまざまである。なかには女性の島根や沖縄など三大死因とも死亡率の低い県もあれば、男性の青森のように三大死因とも高い県もある。

また、最上位と最下位の死亡率を比較すると、いずれの死因も大きな差がある。この差をみると下位の県の死亡率は、まだ改善される余地がありそうに思える。そうなれば、全体の死亡率はさらに低下し、平均寿命も引き続き伸びていくことになる。



図表2 粗死亡率と年齢調整死亡率の推移(いずれも人口対10万)



図表3 三大死因の都道府県別年齢調整死亡率
(上位・下位各5都道府県を掲載、死亡率は人口対10万)

	男性					女性				
	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患			悪性新生物	心疾患	脳血管疾患		
	都道府県: 死亡率	都道府県: 死亡率	都道府県: 死亡率			都道府県: 死亡率	都道府県: 死亡率	都道府県: 死亡率		
1位	長野 179.2	福岡 71.2	福井 61.3			1位 島根 86.9	沖縄 39.6	沖縄 30.0		
2位	福井 191.1	島根 72.0	奈良 61.8			2位 沖縄 87.8	長野 39.8	福井 35.8		
3位	熊本 191.9	富山 73.8	滋賀 62.9			3位 長野 88.8	島根 40.4	島根 37.6		
4位	群馬 192.8	秋田 74.3	大阪 63.4			4位 宮崎 92.7	富山 40.9	大阪 38.8		
5位	沖縄 194.8	熊本 74.4	京都 63.5			5位 山梨 93.1	新潟 41.2	石川 39.3		
43位	長崎 234.8	高知 96.1	長野 87.3			43位 兵庫 108.2	和歌山 53.6	群馬 53.5		
44位	秋田 239.0	福島 96.9	栃木 90.0			44位 京都 109.4	埼玉 53.8	福島 53.7		
45位	青森 240.2	愛媛 99.1	秋田 91.1			45位 福岡 111.5	栃木 54.5	茨城 54.6		
46位	佐賀 241.8	和歌山 101.8	岩手 92.6			46位 東京 111.6	千葉 54.7	栃木 56.1		
47位	大阪 245.0	青森 102.5	青森 102.7			47位 大阪 117.2	愛知 55.8	秋田 57.6		
47位/1位×100%	136.7	144.0	167.5			47位/1位×100%	134.9	140.9		

資料:厚生労働省『都道府県別にみた死亡の状況 平成12年都道府県別年齢調整死亡率の概況』